2023年度　JPPC公認事業
ASJいのちの教室
ご案内

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

ATHLETE SAVE JAPAN

はじめに

ATHLETE　SAVE　JAPANは「いのちの教室」を中心とした、社団の活動趣旨にご賛同頂いているアスリート・企業・自治体等の皆様からのご支援により運営しております。

当社団の趣旨をご理解いただき、温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

アスリートセーブジャパン
代表理事　飯沼誠司

いのちの教室＝社会的課題解決のツール

大きく変わり始めている現代社会の中で、増え続けるいじめ・
自殺・心臓突然死、自然災害。これらから一人でも多くの「いのち」
を救うためにはどうしたらよいか？
私たちは、「アスリートの力＆いのちの教室」を社会的課題解決の
ツールとして、最低限の対価を頂きながら活動し、ご協力いただく
皆様へ還元していくことで、現代社会に不足している課題解決の
一歩になればと考えています。

【いのちの教室を通じて発信したいこと】
①いのちを大切にする心
②主体性・助け合い・思いやりの心を持つ人材の育成
③コミュニケーション能力の高い人材の育成
④学校・スポーツ・職場の安全な環境づくりの提唱

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

共助の社会を作り上げるためには

いのちの教室を通じて、主体的に行動できる
『人材育成』が最も重要！

「いのちの教室」の社会的意義

松田直樹　（時事）

【松田選手の突然死】

練習場にAEDはなく、救急隊が電気ショックしたのは約30分後

「呼吸と脈拍の確認に問題も」 長距離走練習中の小6女児死亡事故、さいたま市検証委が報告

産経新聞 2月27日(月)10時36分配信

さいたま市北区の市立小学校で昨年9月、6年生の女児＝当時(11)＝が長距離走の練習中に倒れ死亡した事故で、市教育委員会が設置した検証委員会が26日、検証結果を発表した。

検証委は医師や救急救命士らで組織。昨年10月から計4回にわたって事故の検証や再発防止策を討議した。事故をめぐっては、女児が倒れた直後、「呼吸がある」として教諭らが校内に設置されている自動体外式除細動器(AED)を使用しなかったことが問題視されている。

【さいたま市小学生の突然死】

AEDがあったのに使われなかった･･･

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

「ASJいのちの教室」とは

「ASJいのちの教室」には、アスリートが実施するAED講習会を通じて命を大切にし、互いを思いやり、支え合える人間になってほしいという願いが込められています。

【効果】

■命を大切にする・人を思いやる心を育むことができる
⇒『冒頭インタビュー』で心停止で救助された方がメッセージ

■アスリートの説明と専用のDVDを併用し導入しやすく工夫

■AEDの使い方と心臓マッサージに絞った講習

■教材を一人一個ずつ配布することで短時間で一斉にトレーニングを実施することが可能

ATHLETE SAVE JAPAN

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

新ASJいのちの教室（メイン）

①専用DVDを見ながら

②専用の教材を1人1個貸出

③アスリートと一緒に
全員で効率よく楽しく実施

ASJいのちの教室のリニューアル

※専用のDVDと教材を使用

【メイン】

AED

※DVD中の動画と
専用教材を使用
実技形式

NEW

止血

（オプション）
※DVD中のスライド使用
講義形式

NEW

熱中症

（オプション）
※DVD中のスライド使用
講義形式

NEW

頭部外傷

（オプション）
※DVD中のスライド使用
講義形式

2023年度　ASJの事業

社会貢献活動

SAVE.1
いのちの教室
命の大切さを考える
心を考える
AED講習会

SAVE.2
（全競技共通）
基礎トレーニング
体の使い方
体幹・バランス
怪我の予防

SAVE.3
（全競技共通）
スポーツクリニック
各競技の技術、考え方を知る
アスリートから、楽しさや
奥深さを学ぶ

安全なスポーツ環境の構築

スポーツの普及

メディア事業

ASJ Channel
ASJが発信する動画チャンネル！

- アスリートインタビュー
- スキルアップ動画
- アスリート密着映像
- 座談会
- 企業タイアップ
- クッキング動画

など

ASJアクシデントケースの発信

ASJ accident case

事故事例の収集
予防策の発信
学会等での発表　など

ATHLETE SAVE JAPAN

「より良いスポーツ環境作り」の為に、スポーツ環境で起きてしまった事故や、良い対策についての報道や資料を収集し、「スポーツ環境での事故」のアーカイブを作り、防止の為の知見を広めたいと考えています。

Case
事故事例

Action
予防対策関連

Lawsuit
裁判関連

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

これまでの活動紹介

ATHLETE SAVE JAPAN

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

ASJいのちの教室　実績

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実施回数	55回	67回	69回	25回	50回	25回
受講人数	2,859人	5,228人	4,930人	1,866人	22,000人	1,601人

※2020年度は新型コロナウィルスの影響により合計52件が延期または、中止となった

2022年度	学校	イベント	JPPC	合計
実施回数	10	7	8	25
受講人数	1202	85	314	1601

ATHLETE SAVE JAPAN

事例：学校開催

【ASJアスリート】
飯沼誠司（いのちの教室）
植木隆人（車椅子バスケ）
対象：小学校6年生
人数：85名
学校：世田谷区砧小学校

事例：他イベントへのJOIN

【ASJアスリート】
飯沼誠司
朝日健太郎
湯田友美
対象：福島県相馬市小学生
人数：50名
お台場ビーチフェスティバル

事例：ASJ主催イベント（屋外）

【ASJアスリート：13名】
対象：未就学児～大人まで
来場者数：約5,000名
場所：二子玉川公園周辺・河川敷
スポーツアクティビティといのちの教室の融合

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

事例：熊本震災支援活動（2016年4月28日）

【ASJアスリート】
飯沼誠司
巻誠一郎（ロアッソ熊本）
常田真太郎（スキマスイッチ）
大黒摩季さんと現地コラボ
対象：益城町の方々

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

メディア露出例（NHK）

2016年1月21日

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

HEROs AWARD2018受賞

社会とつながり、社会の助けとなる活動を行っている
アスリートや団体を、見つけ、讃え、支えていく。
それが、HEROs AWARD。
2018年の受賞者・団体は6名。
受賞がアスリートの活動を後押しし、
新たに社会貢献に取り組むアスリートが増え、
もっとあたりまえになっていく。
それが、HEROs AWARDの未来です。

HEROs AWARD
飯沼 誠司
ATHLETE SAVE JAPAN いのちの教室

東京都オリンピック・パラリンピック教育プログラム掲載（2018年4月～2021年3月）

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

ASJいのちの教室を
オリンピック・パラリンピックの
レガシーに！

東京2020参画プログラム
主体登録申請　認証

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

こども・保護者の感想

ATHLETE SAVE JAPAN

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

娘にこの体験で学んだことは何かと聞いてみたところ、
「私たち子どもでも、AEDを使ったりすれば大人も助けることができる
ということを学んだ」と答えました。
実際に、心臓マッサージを練習したりと（家でもやって見せてくれました）、
本当に良い体験になったと思います。
私も当日、少しだけ参観しましたが、心臓マッサージを体験させて頂いたり、
AEDの使用方法についても勉強させて頂きました。
家では、AEDが置いてある場所は近くにあるのかを子どもたちと
ネットで検索し、調べてみました。
このような体験を通し、子どもたちには少しでも
命に対する意識を持ち続けてもらえたらと思います。
この度は、貴重な機会を設けて頂き、ありがとうございました。

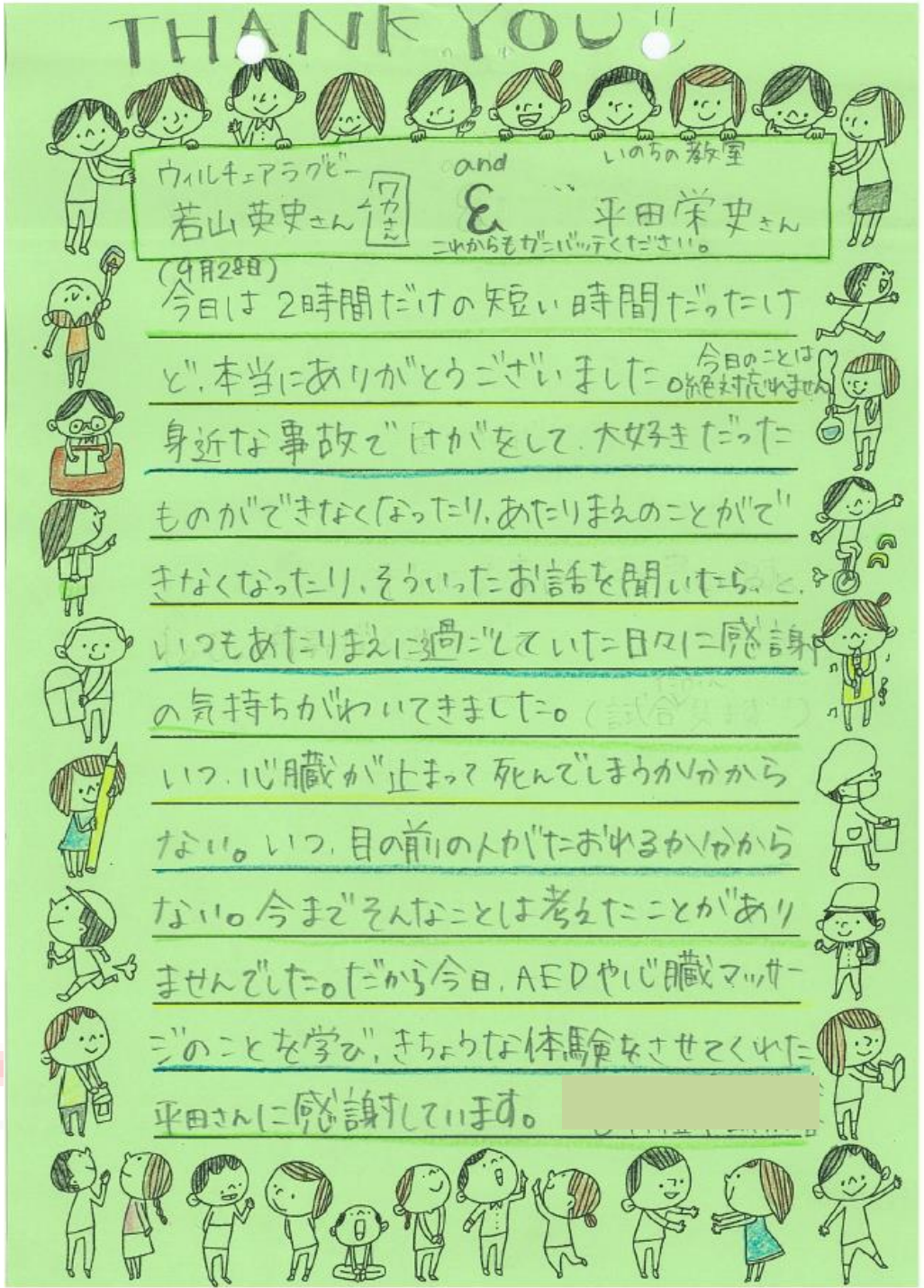
「命の教室」見学させて頂きました。スポーツ中など若者が命を落とす事が多い事を知り、大変ショックを受けました。もし自分が倒れた人を見つけた時、119番を呼ぶ事は出来ても、AEDまでは思いつかないでしょう。しかし、今回の授業に参加した事によって、AEDを探し1人の命を救う事が出来る存在になれるんだと確信し、少し勇気が出ました。子供達も1度では、忘れてしまうでしょうが、何度か学ぶ事で、定着し、きっといざという時、人助けができる大人となるでしょう。

6年1組　保護者名【石原恵美子】

＊9月28日（木）までに担任にご提出

のりかへ　ございました。

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN



Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

プラン紹介

ATHLETE SAVE JAPAN

Japan Publicsports Promotion Conference

ATHLETE SAVE JAPAN

学校・イベント向けプラン
『いのちの教室＆スポーツ体験』

	講師派遣型	実施内容	時間	定員	場所	ねらい	人員
①	SAVE1 （AED講習）	いのちの教室	45～60分	10名～300名	屋内	命の大切さを考える 心の教育 AEDの使い方・心臓マッサージを覚える	アスリート1名
②	SAVE2 （競技別）	スポーツ体験 （競技により相談）	45～60分	競技により相談	屋外／屋内	スポーツの楽しさを理解する 夢を持つ	アスリート1名

※アスリートのご指定に関しては原則、お受けしておりませんので予めご了承ください。

【費用について】

※①のみでも①+②でも費用は変わりません。②のみの場合は別途相談

特急・新幹線・航空機による移動および宿泊が必要な場合は別途計上。
アシスタント派遣費用+交通費・宿泊費を別途計上。

※「スポーツ体験」は各競技の本格的なクリニックではありません。あくまでも「体験」ですので予めご了承ください。

※講演のみ、スポーツ体験のみのご依頼の場合の費用は別途相談となります。

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

ASJいのちの教室
基本プログラム　45分

時間	実施時間分	内容	ポイント	指導手順
0:00～0:05	5	メッセージビデオ再生	・いのちの大切さを身近に感じる	・映像視聴
0:05～0:10	5	導入	・年間の病院外心停止件数 ・AEDの実施率 ・蘇生率の時間的減少 ・心室細動について ・救急隊到着時間	スライドで説明
0:10～0:12	2	教材の確認	教材が膨らむかチェック	教材を出して自由に押してもらう
0:12～0:17	5	周囲の安全確認 応援要請 (口頭指導含む)	映像を見た後に実施	・HPの初動の動画をみてから実施してみる (口頭指導の部分も)
0:17～0:21	4	呼吸の確認 (映像確認・説明のみ)	・6秒程度10秒以内の確認 ・死戦期呼吸について ・迷ったら胸骨圧迫開始	・呼吸の確認デモ展示(実施なし) ・死戦期呼吸の展示(ビデオまたは演技) ・迷ったら胸骨圧迫ということを強調する
0:21～0:29	8	胸骨圧迫	・圧迫位置 ・強さ ・リズム ・リコイル ・胸骨圧迫の継続(交代法)	・胸骨を触って、位置を確認 ・音が鳴るか10回押してみる ・リズムを意識して20回圧迫 ・リコイルを意識して30回圧迫 ・1分間通して圧迫する ・2人1組になって20回押したら、タイミングを合わせて交代する。＊2往復交代する。
0:29～0:35	6	AEDの使用	・音声に従って使用する ・皮膚に直接密着させる ・パッドを剥がさない ・電源を切らない ・胸骨圧迫中断を最低限に	・電源を入れて音声に従うことだけを説明 ・2人1組の片方の人に一度使ってもらう ・パッドの貼り方を指導 ・1回目に使った人は胸骨圧迫している所に、胸骨圧迫の中断を最小限に留めてAEDを使用
0:35～0:45	10	シナリオ トレーニング	・ショックあり ・ショックなし	時間に応じてどちらかを選択して実施
	45			

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

JPPC公認事業　協働価格表

（税抜）

宿泊の有無	JPPC協働価格	費用内訳	（参考）一般価格
宿泊なし	130,000円	アスリート、アシスタント、機材費等	166,000～316,000円
宿泊あり	180,000円		216,000～366,000円

【備考】
※アスリート、アシスタントの交通費・宿泊費は別途計上してください。
※宿泊先・交通の手配が必要な場合は、ASJ事務局よりご相談させていただきます。
※いのちの教室の他、アスリートによるスポーツ教室を実施する場合も同額で行います。
※種目のご要望には可能な限り調整致しますが、ご希望にそえない場合は別途相談させて頂きます。
※派遣アスリートを指定する場合は、別途のお見積りとなる場合がございます。
※著名アスリートの場合は、別途価格のご相談させて頂く場合がございます。
※機材の発送費用は当方にて負担いたしますが、返送用費用は、原則、主催者様のご負担でお願いします。

キャンセルについて

1. 本規程の目的

本規程は、当法人が運営する「いのちの教室」をお申し込みいただくにあたってのキャンセル方法及びキャンセル料金に関するルールを定めたポリシーです。

2. 本規程への同意

「いのちの教室」にお申込みいただいた場合は、このキャンセル規程に同意したものとみなされますので、必ず本規程をご確認、ご了承いただいた上で、「いのちの教室」にお申込みいただくようお願い申し上げます。

3. キャンセル料金の発生

「いのちの教室」のお申し込み後、お申込者様のご都合により、開催を中止する場合は、以下の表を適用し、キャンセル料をお支払いいただきますので、ご注意ください。キャンセル料金は外税となりますので、別途消費税を加えた金額となります。

【キャンセル料金表（コロナ渦特別ルール）】

開催当日から前日まで	**開催料金の100%**
3日前まで	**開催料金の80%**

ご依頼主様のご都合又は当法人に帰責性のない事由により、業務の実施を中止する場合は、以下の表を適用させていただきます。
予めご了承ください。（キャンセル料金のほか、交通費・宿泊費等のキャンセルに伴う実費を含む。消費税は別途計上）

※適用期間：2022年12月1日～2023年12月31日までの開催分

4. お申し出方法

キャンセルのお申し出は、当法人事務局宛ての電子メール（info@athlete-save.jp）の方法でお願いいたします。その他の方法でのお申し出は、正式なキャンセルのお申し出として扱うことができませんので、何卒ご理解のほどお願いいたします。

5. キャンセル料金のお支払い

なお、キャンセル料金が発生した場合は、キャンセル日から3日以内（土・日・祝日等の銀行休業日を除く）に、別途指定する口座宛てに、キャンセル料金をお支払いただきます。なお、振込手数料は、お申込者様のご負担となりますので、ご了承ください。

一般社団法人ATHLETE SAVE JAPAN
2017年11月1日制定

Japan Publicsports Promotion Conference
ATHLETE SAVE JAPAN

お客様にてご用意いただく器材

- プロジェクターもしくはモニター
- スクリーンもしくはそれに相当するもの
- マイク×２
- 延長コード
- スピーカー

※いのちの教室はDVDを再生しながら行います。

団体概要

◆名称：一般社団法人　ATHLETE SAVE JAPAN

◆〒113-8420
東京都文京区本郷2-35-8（フクダ電子内）

◆TEL：03-5684-1817　　FAX:03-5684-1823

◆WEBサイト：http://www.athlete-save.jp/

◆設立：2015年9月28日

◆代表理事：飯沼　誠司

◆理事：3名　社員：1名　監事：1名　スタッフ：5名

◆登録アスリート：80名（2021年10月現在）

MEMO

この資料に関するお問合せは、下記にお願い致します。

ATHLETE SAVE JAPAN　事務局　　担当：内山穂南（山口幸伸）

TEL：070-7460-3248　　FAX：03-5684-1823

E-mail：h.uchiyama.asj@gmail.com
y.yamaguchi@athlete-save.jp